

永平寺町 議会だより

第29号

平成25年1月18日発行



見て! 聞いて!
 秋には永平寺川にサクラマスがぞくぞくと遡上しました。



志比南小学校の子どもたちと「永平寺川にサケ・サクラマスの遡上を実現する会」

事務事業評価システム運用へ ②ページ

新消防庁舎は開発センターを利用 ③ページ

そこが聞きたい! (議員14人が一般質問) ⑨ページ

議会と語ろう会 町民からの質問・要望等への回答 ⑳ページ

永平寺町議会 検索

<http://www.eiheiji-gikai.jp>

永平寺町議会 facebook



永平寺川にサケ・サクラマスの遡上を実現する会

事務局長の小林 義親さん(東古市)にお伺いしました。

最近、こしの国ケーブルテレビや、地元新聞だけでなく、NHKでも全国放映され、この会の取り組みは一気にクローズアップ、永平寺町でも改めて高く評価されています。

もともと永平寺川には、たくさんの種類の生き物が棲息していました。しかし、いわゆる開発により、生き物も激減の一途をたどってきたのが現状です。

昔を知る者として、これでは淋しいと、何とか回復できないかと仲間を募り、行動を起こしてきたのがこの会です。

8つもの魚道を作ってもらったり、中部漁業さんに毎年、ヤマメや鮎等の放流をしてもらったり、志比南小学校の子どもたちと一緒に川に入り、放流を手伝っています。いろいろな活動が実を結んだのでしょう。昨年は鮭鱒の遡上を確認しました。また、半世紀ぶりに市野々にまで鮎が帰ってきました。そして、ついには陸封型の桜マスが何匹も見られるようになりました。

一昨年は小学校前の橋下に産卵場を子どもたちと一緒に作りましたが、見事の中で

す。何と陸封型桜マスの産卵現場を目撃できたのです。感動です! 前進しています。課題もあると聞いていますが、頑張ってください。祈っています。



子どもたちによる産卵場づくり

ところで、この会がもう一つ力を入れている活動があります。「えち鉄521プロジェクト」です。ある日、東古市の宝物探しのよう、素敵なポイントでえち鉄の電車風景を撮りに来ていた写真家の皆さんと小林さんが出会いました。これが、プロジェクトの始まりです。東古市に自慢の宝物があったのだ! これで県内外の人を呼べるぞ! 実際、昨年の4月14日の「えち鉄521プロジェクトin永平寺-えち鉄を撮ろう!」は大成功でした。えち鉄だからできる桜とラッセルの共演はナイスでした。写真家の方々との出会いから始まったこの物語は、これからもin松岡駅、in山王駅にまで展開するかも。今年のえち鉄521プロジェクトは絶対に見逃せません。(松川 記)



話題のラッセル車テキ521

521とはテキ521のことで、冬の除雪のためのラッセル車です。昭和24年製造で、今でも現役で活躍中です。

第46回衆院選が終わり、新しく本県を代表する議員が選ばれました。今後は我々の生活に大きく関わる諸課題について、速やかに日本の進むべき最善の針路を示してもらいたいものです。

今回の選挙、別の視点では一票の格差が最大で2・428倍と拡大し、2倍を越えた選挙区が24%になったこと、現行の小選挙区での選挙制度、もともとは安定した2大政党による健全なる政権交代を意図していたはずでしたが、今回の選挙をみてはむしろ、12党と多党化を招いてしまいました。その結果、片や大勝も一方は大敗と余りにも大きく振り過ぎます。要は、制度が実態と合わなくなっていると感じています。

さて当町議会、11月に「議会と語ろう会」を開催「議会活動と議員定数・報酬」について町民の皆様にご説明し、貴重なご意見・ご要望もお受けいたしました。次の議員改選期までには何とか間に合うよう、議員一同協議を続けてまいります。(小畑 記)

議長	川崎 直文	副議長	伊藤 博夫
発行責任者	小畑 直文	議員	藤 博夫
議会	小畑 直文	議員	藤 博夫
議長	川崎 直文	副議長	伊藤 博夫
発行責任者	小畑 直文	議員	藤 博夫
議会	小畑 直文	議員	藤 博夫

編集者のひと言

【発行】永平寺町議会 【編集】議会広報特別委員会

開発センターを一部利用した新消防庁舎建設!!

11月の「議会と語ろう会」で消防庁舎統合について町民からご意見をお聞きし、消防署統合推進特別委員会を2回開催し審議しました。

プラン	内容	工事概要と概算費用	採択結果
1	開発センターを耐震補強し、2階の一部に事務室を設け、新消防庁舎を増築	理事者提案 概要工事費 約4億5660万円 開発センター耐震補強 1億5150万円 合計 6億710万円	7名
2	開発センターを残しつつ、すべての機能を集約した新庁舎の新築	議会から求めた案 概要工事費 約6億4380万円 (今後開発センターを利用する場合、開発センター耐震補強 1億5150万円)	7名
3	開発センターを解体し、跡地に新庁舎とこしの国ケーブルテレビを新築	議会から求めた案 概算工事費 約15億2990万円	1名

プラン1が委員長採決で今後の委員会の方針となりました。



委員会内での主な議論

- ・既存の施設を有効活用すべき。
- ・プラン1は、将来的経費を考えると高くなる。
- ・機動的・機能的な消防を構築するため、新築で集約すべき。
- ・開発センターを解体した場合ケーブルテレビ移設に6億1150万円かかるとでているが、機器の更新時期にきている。前倒しすれば安く上がるのではないかな？
- ・駐車スペースが狭くなり、施設が有効に使えなくなる。
- ・町内の公共施設利用計画を先に示すべき。

議会と語ろう会 町民の声 (抜粋)

- ・開発センターを改築する費用と、壊して改築した場合の費用は、どのくらいの差額か。
- ・行財政改革の一環ではなく、消防体制の見直しとして統合していただきたい。
- ・住民の命・安全に関わる消防署統合は早くしてほしい。消防署建設は借金をしてでも早くやらないといけない。
- ・築40年経過の開発センターの耐震補強の新消防庁舎でなく、全面的に新築してやるように。
- ・利便性を一番に考えてほしい。建物はどのようなものでも機動力がよくなればよい。



永平寺町議会議長
伊藤 博夫

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては希望に満ちた新しい年をお迎えになられ、町議会を代表し心からお慶び申し上げます。旧年中は、心温まるご支援、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

年末の衆議院選挙による政権交代が景気回復・雇用創出や年金・医療・介護など社会保障の充実がよい方向になるよう願っているところでありたい。

本町議会といたしましては、町政を取り巻く環境の変化を的確にとらえながら、議員一人ひとりがその責務を自覚し、議員活動にまい進する所存です。より一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、新しいこの一年が町民の皆様にとって、素晴らしい年になりますよう、ご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます、新年のあいさついたします。

事務事業評価システム

「事務事業評価シート」を作成し進める

各事業の目的や成果の評価を行う。

緊急性、優先性、効率性を検討する。

事務事業の簡素合理化、統合化等の見直しを行う。

限られた財源のなかで住民ニーズに対応した事務事業とする。次年度以降の方向性を決める。

町が行っている「事務事業評価システム」を研修し、導入している議会の調査・研究を進め、町との連携を取り、決算予算審議での実施に取り組みます。

町議会でも「事務事業評価システム」を運用し、決算審議・予算審議のサイクルを充実しなければなりません。

町が行っている「事務事業評価システム」を研修し、導入している議会の調査・研究を進め、町との連携を取り、決算予算審議での実施に取り組みます。

平成19年度より400〜450の事業で実施しています。

町は行財政改革で「事務事業の整理統合化」に「事務事業評価システム」を運用し、取り組んでいます。

事務事業評価シート

町議会も事務事業評価システム運用へ

平成24年 第5回 定例議会報告

平成24年第5回永平寺町議会定例会は、12月4日(火)から12月17日(月)まで14日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。
議長 伊藤 博夫

第5回定例議会議案

承認第9号 平成24年度上水道事業会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第66号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
承認第10号 平成24年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第67号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第50号 平成23年度一般会計及び特別会計の決算認定	認定	議案第68号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第51号 平成23年度上水道事業会計の決算認定	認定	議案第69号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第59号 平成24年度一般会計補正予算	可決	議案第70号 町税条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第60号 平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算	可決	議案第71号 母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第61号 平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	議案第72号 父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第62号 平成24年度介護保険特別会計補正予算	可決	議案第73号 下水道条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第63号 平成24年度下水道事業特別会計補正予算	可決	議案第74号 水道の布設工事の監督および水道技術管理者に関する条例の制定	可決
議案第64号 平成24年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決	議案第11号 議会委員会の一部を改正する条例	可決
議案第65号 平成24年度上水道事業会計補正予算	可決	議案第12号 議会会議規則の一部を改正する規則	可決

議案への賛否一覧

議席順に掲載 (○賛成 ×反対 一欠席 □退席) ※議長(伊藤博夫)は採決に加わりません

	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	河合	上田	酒井
議案第50号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等20件については全員賛成です。

議案への賛否討論

議案第50号

平成23年度

一般会計及び特別会計の決算認定について

反対

23年度決算は、町民に必要な予算も執行されているが、
一、公平な人事とは思えぬ
二、地元の経済対策が第一とはなっていない
三、多くの指名業者が入札辞退する内容の設計をさせていた
四、地域包括支援センターを運営委託へ
五、支所の利用計画や、あり余る公共施設の整理も示されていない
等の理由でこの決算は認められない。

金元 直 栄

賛成

平成23年度の一般会計及び特別会計の決算認定において、各々の事業や事項に対して慎重に審査を行った。
認定に当たり委員長報告の通り行政に対し意見を示し回答を求めた。この意見を平成25年度予算編成に反映することにより、おおむね妥当と判断し認定するものである。

上田 誠

議案第59号

平成24年度

一般会計補正予算について

反対

反対の第一は、町の合併後、全ての公共施設のあり方や活用計画が示されていない中で耐震計画への予算計上であり、永平寺支所と開発センターの利用計画が示されないこと。
第二は、温泉建設業者の倒産で、工事再開の予定は全く見えてはいないし責任も明らかにされていない。ここで備品購入はみとめられない。

金元 直 栄

賛成

議会中に開催された消防署統合推進特別委員会(議長以外の全議員で構成)で、僅差だったが、行政から示されたプランが可決された。委員会決定のプランは耐震設計予算が必要である。委員会では、私は違う立場だったが、建設的議会、委員会の決定を尊重するためにも、賛成する。

河合 永 充

反対

請負業者の倒産で温泉建設の目途がたない中、何事もなかったように施設関係の予算が出ている。先に詫びてからの話だ。今、計画の中の消防庁舎の建設も将来に悔いを残す。「あの時誰も反対しなかったのはおかしい」と思われても仕方のない案である。「議会と語ろう会」で頂いた住民の声も活かしていない。もっと工夫の余地がある。

松川 正 樹

賛成

開発センターの2階部分を新消防庁舎の事務室として活用することを、今会期中に開催した「消防署統合推進特別委員会」で、僅差ではあったが決定しました。従って、開発センターの耐震補強計画は、当然必要である。

原田 武 紀

反対

消防署庁舎は3プランの中で採決で、開発センターを利用するプランに決まりましたが、消防庁舎に開発センターを利用するか否かでは、8対8だった。慎重な審議が必要である。現時点での開発センター耐震実施設計の予算は時期尚早である。よって反対とする。

長岡 千 恵子



耐震補強計画の永平寺支所開発センター



一時中断している温泉施設

本委員会に付託された案件を慎重審議の結果、全議案とも委員会全員により原案のとおり可決された。

☆「来春・役場の勤務時間が短縮に」
○議案第66号から議案第68号

永平寺町職員の勤務時間短縮に伴う改正
平成20年度の人事院勧告で見直しを求められた内容。県内市町との協議のもと平成25年4月から改正する。勤務時間の一日8時間、一週間40時間を一日15分短縮し、1週間の勤務時間を38時間45分に改める。

○議案第69号 永平寺町職員の特殊勤務手当てに関する条例の一部改正
本案は、災害発生時における特殊勤務手当てについての防疫作業の文言、「伝染病を感染症」と改め、また、手当額の額を一日1,000円を300円に減額する。

○議案第70号 永平寺町税条例の一部改正
本案は、永平寺温泉「禅の里」が来春開業に伴う入湯税の改正で入浴客一人一日150円を、宿泊150円・日帰り80円と改正する。



永平寺温泉「禅の里」
入湯税の改正

総務常任委員会
委員長 長谷川治人

平成23年
決算報告

当委員会に付託された議案第50号「平成23年度一般会計及び特別会計の決算認定」議案第51号「平成23年度上水道事業会計の決算認定」について、副町長、所管課長等の出席を求め、9月28日から7日間にわたり慎重に審査した。

審査所見は、予算に対する執行は適正なもの認められる。しかし、少子高齢化、景気低迷

により税収減少が予想されることから、今後も財源確保のための更なる賦課・徴収を強化し、適正な事業の選択、実施を求める。

また、組織機構の見直しや公共施設のあり方等を含めた行財政改革も、一層強力に推進させることを求める。

審査結果は、議案第50号は、15名の賛成、1名の反対・保留で、議案第51号は全員賛成で原案の通り認定することに決した。

新消防庁舎建設にともなう
「開発センター耐震補強計画」委託料
総額587万8千円決まる!!

平成24年
12月
補正予算

当委員会に付託された議案第59号「平成24年度一般会計補正予算」から議案第65号「平成24年度上水道事業会計補正予算」の7件の予算案は、原案のとおり可決した。

一般会計補正予算の総額は、1億851万4千円で、本年度当初の人事異動等に伴う人件費の補正、町営住宅跡地等売却収入4103万7千円をまちづくり基金に積み立て、永平寺支所および開発センターの耐震補強計画委託料587万8千円、健康福祉施設備品購入費等1417万円、

県営道路整備事業負担金5396万8千円が主な補正内容であった。

また、国民健康保険事業会計では、23年度事業費が確定したことに伴い国庫および県支出金の返還金等で1957万4千円の増額、後期高齢者医療特別会計では、保険料軽減に伴う後期高齢者広域連合へ納付金66万円増額、介護保険特別会計では、人件費補正の他、施設介護サービス給付費、高額介護サービス費等を増額し総額3982万6千円の補正となっている。

下水道事業特別会計、農業集落排水特別会計、上水道事業会計は、人件費補正となっている。

詳細な審議の一部は次の通りです。

- 問 耐震化する永平寺支所と開発センターの利用計画は。
- 答 開発センターの2階を消防の一部に、支所の2・3階の利用計画は今後示します。
- 問 今ある公共施設と耐震化していくということは、今の数量を維持していくのか。
- 答 第二次行財政改革で公共施設のあり方を27年度までに示します。
- 問 町税還付金500万円は、昨年より多いのではないのか。
- 答 過年度分の確定申告したところ、予定納税された法人15社に還付金が生じたためです。
- 問 健康福祉施設の完成時期が定まっていなのに、備品購入費を計上するのは時期尚早ではないか。
- 答 できるだけ早い完成を目指していますが、備品の中には工事と同時に施工するものや、受注製品で数ヶ月かかるものもあります。

どうなる
今後の文化祭!

教育民生常任委員会
委員長 長岡千恵子

当委員会は12月定例会に提案され、付託された案件について、12月14日に開催。全員一致で承認しました。

☆永平寺町母子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

☆永平寺町父子家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

☆生活保護基準の引き下げはしないことなど国に意見書提出を求める請願書について

現状の実態が把握できないため継続審査とした。

今後の文化祭

1、町内のナイター照明の使用料について、経過説明をうけた。

2、発達障害児の現状と対応について説明。

3、3地区で開催されている文化祭が1会場になると聞くが、その理由と目的は。

4、アレルギー対応食の統一マニュアルは整備しているか。研修会や学習会は実施しているか。

5、認知症やうつ病の早期発見の方法は。



永平寺町文化祭

地域活性化のための
意見交換!

産業建設常任委員会
委員長 川治 孝行

12月16日9時より、付託された☆第73号議案永平寺町下水道条例の一部改正☆第74号議案永平寺町水道の布設工事の監督及び水道技術管理者に関する条例について審議し賛成全員で承認しました。

この他、除雪について、越坂地区の交差点についてなど、行政に対して委員より意見質問が出されました。

11月2日には、国土交通省中部縦貫自動車道担当者より、永平寺町商工会の正・副会長、事務局長を交えて説明を受け、中部縦貫自動車道開通後の地域経済・観光についての意見交換をしました。

今後、町内各団体や、最前線で活躍されている方のお話をお聞きし、活気のある町となるよう委員会として、どのようなことができるか取り組んで参ります。



一日も早い開湯を!

温泉利活用特別委員会
委員長 多田 憲治

25年4月オープンを目指し、永平寺温泉健康福祉施設の整備を進めてきましたが、建築業者である福井市の榊松尾工務店が11月21日付けで事業を停止、行き詰まりが表面化し、工事が一時中断することとなりました。当委員会としても、今日までの進捗状況、請負契約金額に関わる諸問題また、今後の工程等を理事者に問いただし協議しました。

理事者は、完成時期についての明言は避けましたが、町民に一日も早くご利用いただけるよう施設の完成を目指し、進めていくことで委員会も了承しました。

また、この施設の愛称公募では、全国から6000点近い応募があり、産業フェアに来場された人の投票もいただき、その結果を踏まえ選考したところ、永平寺町らしく親しみの持てる名称「永平寺温泉 禅の里」に決定しました。



議員定数と議員報酬を集中審議

議会行財政改革特別委員会
委員長 川崎 直文

議員定数と議員報酬について、議会基本条例に基づき第2回目(9月27日開催)の委員会より審議を始めた。

これまでの当議会の定数・報酬の変遷、近隣市町の状況を把握し、議会活動・議会機能を再度、確認しました。4回目(10月31日開催)の委員会からは、議員活動日数の把握、政務調査費の調査、審議を行いました。

これまで議員定数については、現状のまま18人、2〜6名削減、政務調査費は必要の意見が出ています。



11月に行われた「議会と語るつ会」での皆様のご意見を各委員が共有し、今後さらに審議を重ね、平成25年の3月には結論を出し、条例を改正します。

新消防庁舎 開発センターの一部活用案に決定!!

消防署統合推進特別委員会
委員長 原田 武紀

9月定例議会「新しい消防庁舎は、永平寺支所横の開発センターの一部を事務所として活用し、消防の中核である指令センターや車庫等は、増築することが望ましい」との結論に至った。「町長方針の公式表明を受け、10月22日と11月28日、更に、12月定例議会会期中の12月12日と都合3回当委員会を開催し、町長方針に対する質疑を集中的に行いました。



開発センターの耐震診断の結果は、地下部分を含めるとDランクであるとのことで、開発センターの活用は是非が議論の最大の争点となった。この号の特集記事にある様に、最終的には「プラン1」が僅差で可決されたが、反対意見も多かったことから、今後理事者側に丁寧な説明を求めていきたいと思えます。

問&答

そこが聞きたい!

一般質問

14名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

問 来年度(25年度)予算編成の基本的な考え方は

答 社会情勢の変化に対応、効率的な運営、安心・安全の生活サービスの向上を図る



上坂 久則 議員

問 予算要求額の5%(前年度比)シーリングにの予算編成とあるが、サービス低下にならないか。
企画財政課長 主として事務経費を対象にしているため、サービス低下を想定していない。
問 町民との協働事業を新規に導入したいとあるが、具体案があるのか。
企画財政課長 住民・自治会・NPO・企業等と行政が、地域活性化を目的に、地域力の向上のため地域が計画し協働で実施したい。



健康で元気な高齢者の運動会

問 町長の強い思いとは。
町長 道路網整備、農業・商業の活性化事業、教育・子育て、健康づくり等の福祉、学校の耐震化、定住化促進を進めてきたが、住みやすい町づくり、質の高い町づくりを努める。

問 災害時、個人情報遵守による弊害とは。
総務課長 緊急時は遅滞なく対応する。
問 厳守しすぎると生命保護への対応遅れが心配だが。
総務課長 町長(災害対策本部長)の判断・指示により即応する。

問 子ども達(少年野球等)のナイター使用料は有料で室内使用料は無料。健康で元気な高齢者の運動会

自衛官募集の表示、長寿から健康長寿、等の質問は紙面の都合にて割愛



問 平成25年予算編成に向けた基本方針の概要を問う

答 基本計画に掲げている重点施策と中期財政計画を柱に



齋藤 則男 議員

問 今日の景気の低迷における経済状態、また衆議院の突然の解散、選挙における選挙後の国政・政権等の行方が混沌としており、不安な材料が多い中、国や県の依存財源に頼らざるを得ない本町にとっては、極めて厳しい状況と思われる。

答 新規の事業、また継続、拡大事業におけるその財源の確保はどうか。そして、経常的な経費、人件費、

問 雪に対する除雪、排雪の計画の概要は。

答 雪に密着した幹線道路を優先的に作業するようにしている。除雪作業は積雪量が10cm以上を達した場合や、達すると見込まれる場合に作業を始める。排雪場所については、松

問 生活に密着した幹線道路を優先的に作業する

岡河川公園、永平寺河川公園、中島河川公園の3カ所を指定している。また、周知については、12月号の広報紙あるいは各戸配布で、また、各区長さんには除雪の路線図を配布している。



新しく購入した除雪車



建設中断している温泉施設

が散乱したり、不法投棄が行われたり、雑草がひどくなった時は環境課と上志比支所が協力してゴミの除去、雑草等の対応をしている。景観保持等を図るために行政代執行も視野に入れた条例の制定について検討したい。

問 現代の場所に自動販売機、N-TTの公衆電話があるが、利用が少ない所より、えち鉄の山王駅に設置したらよいと思うが。

答 前回の質問したのが、永平寺町の景観・美観を損ねる不法にゴミ等も捨てられている。その後の進展はないのか。

問 現代の場所に自動販売機、N-TTの公衆電話があるが、利用が少ない所より、えち鉄の山王駅に設置したらよいと思うが。

答 環境課長 これまでもゴミ係がどうなるのか十分調査し、検討していきたい。

問 建設中断している温泉施設の開業はいつ?

答 新業者が落札後開業日を決定する



酒井 要 議員

問 前回の質問したのが、永平寺町の景観・美観を損ねる不法にゴミ等も捨てられている。その後の進展はないのか。

答 環境課長 これまでもゴミ係がどうなるのか十分調査し、検討していきたい。

問 松尾工務店の倒産で中断しているが、現在、どんな状況になっているのか。

答 健康施設室長 健康福祉施設の建設工事について、去る11月21日に当該施設の請負業者の松尾工務店が事業停止、法的整理に入り、表面化した。施設の建築契約の解除や現在までの出来高の確認などの清算事務については法定代理人である弁護士と現在協議を進めています。

問 6年後の福井国体本町の取り組みは?

答 万全を期して取り組みたい!



小畑 傅 議員

問 6年後の福井国体「福井しあわせ元気国体」と名称発表になった。本町はバスケットボール、ハンドボール、ソフトボールの開催が決定している。先般、中央競技団体より会場施設の指摘事項があったが、学校施設の松中体育館はバスケットボール少年(高校)女子会場でもあり、アップ施設などの取り組みはどうか。

答 町長 中央競技団体調整が続く中、本県の気象条件に合った「県大3号」の作付けはどのようになっているのか。さらに、この今後の位置づけはどう考えているのか。

問 小畑「福井県大3号」の作付けから商品開発・販売は?

答 まず作付けの奨励を行って量を多くしたい!



町長杯バスケットボール大会 (松岡中学校体育館)

*健康福祉施設整備室長を健康施設室長と略しています。

問 宅老所と高齢者集合住宅の開設は

答 宅老所は老人センターとサロンで対応
高齢者集合住宅は課題も多く
事業として取り組む考えは無い



長岡千恵子議員

問 家族と同居しているも、日中は高齢者が一人になることが多くみられる。介護までは行かないが、手助けの必要な人のために、宅老所を開設してはどうか。運営の厳しいサロンを統合して規模を大きくしてはどうか。
福祉保健課長 老人センターを利用していただき、宅老所の開設は考えていない。サロン事業を統合する考えもない。

問 サロン事業の中に高齢者が小さな子どもたちと触れ合う企画を取り入れることはできないか。
自活できる一人暮らしの高齢者が共同生活するような施設を開設してはどうか。
福祉保健課長 金銭的な問題やプライバシーなど重要な問題も多く考えられる。事業として取り組む考えはない。
要望 今後、益々一人

問 食物アレルギーの調査はどのようになっているのか。各小・中学校に何人いるのか。その対応はどうか。
答 食物アレルギーの調査はどのようになっているのか。各小・中学校に何人いるのか。その対応はどうか。
学校給食の食物アレルギーへの対応は
答 アレルギーとなる食材を取り除く除去食で対応しているのか。
学校教育課長 調査は小

問 学校給食の食物アレルギーへの対応は



宅老所あっぱ (愛知県高浜市)

問 除去食のみの対応では場合によっては、メニューが無くなることも考えられる。栄養面は十分なのか。
学校教育課長 除去食で栄養が補われない場合は代替の栄養で補充している。本来なら代替食に移行する必要性があるが、現状代替食の対応はできない。
要望 給食に携わる人が本来の仕事以上の責任を課せられることの無いよう、職場環境に十分配慮してほしい。

問 永平寺地区体育祭は全集落参加が基本では!

答 全集落参加を基本に多世代が楽しめる形を検討したい



長谷川治人議員

問 不参加の集落があるなかで再開を決めたが、永平寺地区が一つになる

問 借地料について無駄はないか!

答 旧公民館、西プールは解体の方向で

問 ①上志比地区の旧公民館や西プールの有効な活用策・返却について早く



西プール (上志比地区)

欲しい」旨の要請があった場合、また、行政が積極的に少しずつでも買取する考えは。
生涯学習課長 ①旧公民館は今後解体の方向で検討し、体育館は耐震調査をし、施設の運営について検討していく。西プール

は平成25年度中には取り壊し、借地料は平成25年度迄と考えている。
学校教育課長 ②町全体の町有地に対する運用方針、財政面を考慮する必要がある。現在のところ買取の考えはない。

その他、中縦自動車道建設に伴う下流域排水対策について、住民の不安を解消するため、年明け早々沿線集落に対し、改めて説明会を開くよう促した。理事者からは「機会を捉えて道路排水計画等、国に対し説明を求め」旨の回答があった。

問 交通安全性を高め、高齢者や障害のある人達の利便性や快適性の向上を図るとしているが、地域住民は信号は設置されるものと信じている。
危険な道路を造る為に地域の人達は土地を提供

したのではない。信号は必須条件と思うが。
総務課長 信号機の設置は県、公安委員会の決定事項のため粘り強く設置要望をしていく。

高規格道路整備後の農工商の将来構想についても質問をいたしました。

問 機能補償道路に信号が設置されないのは何故?

答 粘り強く要望をしていく

問 国道416号の飯島で交通量は13,581台/



機能補償道路 に信号機を!

問 永平寺町総合振興計画の中で道路網の整備を掲げ、交通渋滞緩和を図るとあるが、現在の国道416号(吉野塚バイパス)、364号、及び中部縦貫道路、機能補償道路の進捗状況は。
建設課参事 国道416号は吉野塚バイパスでは4車線化と地下道の工事、国道364号は取付部の概略設計又中部縦貫道路は橋台工、上部工、盛土工、松岡高架橋、工事用道路、道路改良工事又機能補償道路は橋梁工及び舗装工、改良工事を進めている。

日、国道158号美山街道で1万4000台/日だが、中部縦貫道路(大野IC(上志比IC間)及び機能補償道路浅見(光明寺迄の区間)が供用開始された時、交通動態はどのように変化するのか。
建設課参事 奥越からの交通量が増加すると予想される。
問 信号は交通量の状況を見てのことだが、機能補償道路の幅員構成と設計速度及び町道の横断箇所と通学道路指定箇所は。
建設課参事 幅員(車道)路肩含めW=8・0m(総幅W=15・0m)両側歩道区間設計速度(機能補償道路)60km/hr横断箇所6ヶ所 通学道路指定箇所(轟地区)1ヶ所



川治 孝行 議員

問 補助制度を充実し、自主防災組織の防災資機材の整備促進を

答 自主防災組織連絡協議会での防災資機材整備に新年度から支援を計画



川崎 直文 議員

問 地域防災力の強化のため、防災資機材の整備が行われているが、この整備を促進する取り組みは。

答 90の自主防災組織への整備から、今年度中に8つの地域で、すべて設立する自主防災組織連絡協議会へ



自主防災組織で購入した可搬式動力ポンプ

の支援に移行すべき。総務課長 数年をめぐりに自主防災組織連絡協議会への支援へ移行する。問 自主防災組織連絡協議会のエリア内に防災センターを設置し、食料、資機材等を備蓄しなければ

問 避難所の耐震化の

問 耐震化の必要な一時避難所はどれ程あるのか。改修費用の助成事業は。

答 「永平寺町避難所耐震改修促進事業(安全な避難所を確保するための改修費用に対する助成)」により進める

問 避難所等の耐震改修を急ぐ

総務課長 広域のエリアでの食料、飲料、あるいは衣料品、こういったものについては、町が責任を持って備蓄する。



求められる若者パワー!!

問 緊急災害情報は複数の伝達手段で!!

答 ケーブルテレビの活用、エリアメール配信等を考えている

問 本町が今年度から4ヶ年計画でスタートさせた「防災行政無線整備事業」に鑑み、先日、視察した岐阜県関市では「屋外スピーカーの近くの個人には聞こえない。防災無線は、災害情報伝達に万能ではなく、あくまでも伝達手段の一部と促え、緊急速報エリアメール等、複数の手段での情報発信に努めている。」とのことであった。

防災行政無線整備に伴う複数の伝達手段(案)

(1)屋外拡声スピーカーでの音声放送	(主体設備)
(2)ケーブルテレビでのテロップ表示	(連 動)
(3)携帯3社のエリアメール配信	(連 動)
(4)メールアドレス登録者へのメール配信	(連 動)
(5)放送内容の再確認電話サービス	(フリーダイヤル)

問 本町が今年度から4ヶ年計画でスタートさせた「防災行政無線整備事業」に鑑み、先日、視察した岐阜県関市では「屋外スピーカーの近くの個人には聞こえない。防災無線は、災害情報伝達に万能ではなく、あくまでも伝達手段の一部と促え、緊急速報エリアメール等、複数の手段での情報発信に努めている。」とのことであった。

問 若い世代の永平寺町で青年活動を行っている団体の現状は?

問 若い世代が積極的に町政参加していただくための青年連絡協議会設立を

答 リーダー育成が最優先課題だと考える

問 やる気や元気のある若者が町の行事や町政に積極的に参加する場、永平寺町の若者の交流の場としても女性連絡協議会のように青年連絡協議会をつくれませんか?

問 若者や働く世代が盛り上げるまちづくりには、働く世代、生産世代がしっかりと働ける環境づくり、支援が必要だと



原田 武紀 議員

の中で、①災害情報をケーブルテレビのテロップ表示で各家庭に流す。②「防災メール」であらかじめ登録したメールアドレスへ配信する。③携帯3社と「エリアメール」の配信契約を結び、町の緊急災害情報を、町内エリアの観光客も含めた全ての携帯電話に配信する。④防災行政無線は緊急速報の災害情報に限定して、屋外スピーカーの音量を上げる。等が必要だ



河合 永充 議員

協議会の設立には女性連絡協議会とは違い、基盤となる組織がない状態から設立するのは課題がある。しかしながら、働く世代、若い世代がまじりに参画することは大変重要なことと考えている。リーダー育成が最優先課題ではないかと考える。



金元 直栄 議員

り、症状改善もできることと。認知症対策を町ぐるみで取り組んではどうか。福祉保健課長 要介護認定者の中、認知症の割合は約40%。現在、脳トレーニングという事業をやっているが、福大医学部の医師団を中心に、町等と連携し全



認知症予防を町ぐるみで

問 認知症予防に町ぐるみで取り組んではどうか!

答 新たに認知症予防対策へ医学部医師と連携して

問 認知症の高齢者を抱えた家庭は、二日中目が離せないなど、深刻です。65才以上の10人に一人が認知症だと言われていることから、サロン参加者から始めるのではなく、若い世代の子エックで早期に見ると、適切なケアで進行を緩やかにした

問 各公共施設の利用計画は作られているのか

答 なるべく早い時期には作りたい

問 永平寺支所の2階3階の利用計画も示さず開発センター等の耐震補強工事だけ急ぐのは問題だ。第一、利用計画もない施設を耐震化しても意味はない。支所の上階を一部倉庫にしているの

問 消防庁舎は効率のよい施設配置にすべき!

答 開発センター利用で機能は十分発揮できる

問 町は消防署を統合し、永平寺支所付近に開発センターを一部利用して移転するとした。私は消防庁舎を移転する最低条件は、開発センターは撤去、公民館とケーブルテレビ機能は支所の2階3階へ移し、消防庁舎を支所に並べ

問 宅老所(介護予防拠点施設)開設準備に向けた予算を!!

答 現在各地区に老人センターが設置してある宅老所の整備は考えていない



上田 誠 議員

問 世界的に21世紀は高齢者の世紀と言われていて。当町の高齢化は4人に1人26年には27%以上。人は生涯にわたり健康で自立した日常生活を営みたい。当町の老人福祉計画の理念にも住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、施設の充実強化やサービスを充実するところ。高齢者が各々の立場、度合いに合った持てる力を活し、



介護予防拠点施設「宅老所あっぱ」

問 視察先では65才以上の方に登録してもらい、福祉ボランティア活動と健康づくり活動に参加するとポイントがもらえ、商品と交換する制度がある。高齢者の生きがいづくりに採用してはどうか

問 当町の主要施策の主な取り組みに教育環境の充実がある。地域の宝であり町の将来を担う子供達に、安全な環境で学びたくましく成長することができるよう町独自の事業で、学校長からも喜ばれている学校元気創造、確かな学力の育成支援や、複式学級解消、特別支援員(教育対策、不登校対策)の配置、スクールカウンセラーの配置、適応指導教室相談員等を平成25年度にも継続して

他に「議会と語ろう会」から町の若者対策について質問を行いました。

問 町内の地元店が閉店や縮小が続いているが...

答 地元小売店の存在価値も見直さなければ

問 今までもこの傾向があったが、ここに来て地元の有名な大型店まで閉店となった。何年も前から、こういう事態にならないように行政も何らかの手当をすべきと訴えてきた。行政が何もしなかったら、結果は出ていない。これからは店が減っていくと、町からにぎわいが消えていくことになるが

問 青年活動が盛んな時代もあったが、今非常に沈滞化している。若者の姿が見えない。淋しい限りだが、何とかするためには大人側がもっと真剣にならないと、我々の方も燃えないと復活しない。今後勉強する。



松川 正樹 議員

も見直されていかなければならない。商店主、商工会、行政が手を携えてこれまで以上に工夫していきたい。

問 青年活動の復活はあり得ないのか

答 確かに地域活動は沈滞している

問 県立中学校が三年後に新設されるが

答 教育関係者に意見を聞いて備える

問 高校の学習を先取りする県立中学校は教育機会の不平等と言える。心の声を聞いてほしい。



社会教育の拠点のひとつ「松岡 公民館」

学校教育課長 学校の先生方やPTAのご意見を伺い、永平寺町の方向性を探りたい。

問 学校支援事業の充実と継続に向けた予算を!!

答 町独自の取り組みを行っている十分精査して考えていく

問 各学校に対応してほしい!! 学校教育課長 教育目標に「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」を掲げて様々な事業に積極的に取り組んでいる。

町長 町独自の取り組みを行い喜ばれている。今後も十分精査して取り組みたい。

問 消防に今求められているもの



滝波登喜男議員

答 消防団拠点施設を順次整備

問 消防署統合により、今より遠くなる地域の方は、不安を感じられている。そのため、消防団や自主防災組織の充実を求めている。

消防長 消防団では、その拠点施設の整備を平成20年度から順次実施、車

問 学校給食現場の感染症対策は万全か

答 現状を十分調査し、対応する

問 国のマニュアルでは、調理員専用トイレの設置、調理室内温度25度キープが定められているが、また、急な病欠勤務者に対する代替調理員の手配はどうか。また、学校教育課長、調理員専用のトイレはなく、室温



今年度建られた消防倉庫 (永平寺北地区)

両についても各分団ポンプ車、積載車各一台配備を順次実施している。自主防災組織では、連絡協議会を地域ごとに設置し、広域的な取り組みや組織の底上げをねらいとしている。

問 温泉施設の倒産に学ぶこと

答 最低制限価格の見直しを行う

問 倒産した業者は、以前から危ないと言われていた。そんな業者を指名したことを、町はどう考えているのか。

副町長 公共工事の発注は、県の経営審査など一定の基準に基づいて行う。風評で指名除外することはできない。

問 予防策として、最低制限価格の設定見直し、指名業者選定前に専門の調査会社に調査を依頼することを提案する。

監理課長 県と同様、来年、最低制限価格の見直しを行う。民間調査会社に調査依頼することは可能だが、多額の費用がかかるかと予想される。

年末大掃除

12月27日に、議員14人が議場の掃除を行いました。議員みずから掃除するケースは近隣でも珍しいようですが、永平寺町議会は4年前から恒例行事になっています。



議員総出でゴシゴシ

多くの議会が本町議会に視察に訪れました!!

(平成24年8月以降)

9月27日 福岡県 篠栗町議会 8人
議会改革、議会基本条例、議会運営

11月22日 愛知県 愛西市議会 7人
HPの活用、議会だより、議会中継

12月19日 栃木県 上三川市議会 7人
議会改革、議会広報(IT関係)、議会報告会等

視察レポート

平成24年 10月・11月

事務事業評価とIT化

11月19日 午後2時～ 徳島県小松島市議会
・予算決算常任委員会で行っている事務事業評価の導入の経緯、課題並びに行政との関係について
・議会のIT化としてipadを利用しているが、導入経緯、課題、負担割合について

11月20日 午前10時～ 兵庫県加西市議会
・加西市議会基本条例の制定までの経過、運用状況、議会運営委員会での各種実施要項について
・議会議員定数の変遷 ・議会のIT化について

今回の視察で得た情報により、「事務事業評価システムの導入」「更なる議会のIT化」「議会基本条例の実施要項の運用」に取り組んでいきます。



小松島市での研修

最新防災行政無線とは

10月9日 伊勢市防災行政無線
10月10日 関市防災行政無線
関市中濃消防組合消防本部

【団員減少の歯止めに耳寄りな情報】

関市中濃消防本部では、「団員減少ストップ」のための消防団活性化対策の取り組みについて、「サポートカード」を提示することで、参加店舗の料金割引の「特典」があり、市全体で地域の安全安心のため活動する消防団を応援し、併せて商店街の活性化にもつなげる仕掛けをうまく運用されていました。また、伊勢市・関市の防災行政無線の研修では、緊急時の伝達手段に、エリアメール・CATV等複数メディアが活用され、本町でも取り組むべきと感じました。なお、「防災無線は」人命にかかわることであり、防災上の情報だけに限定していくべきと改めて認識した次第です。

総務常任委員会



中濃消防組合消防本部(岐阜県関市)

小水力発電の導入と宅老所の開設

10月14日・15日
岐阜県郡上市 やすらぎの里いとしろ
岐阜県瑞浪市 釜戸小水力発電所
愛知県高浜市 宅老所「あっぱ」

【小水力発電の導入を!】

■やすらぎの里いとしろ

水路を利用して発電

■釜戸小水力発電所

上水道の送水管を利用して発電

既存の水路や上水道の送水管を利用してコストをかけずに発電する方法を視察してきました。



ピコ発電 (岐阜県郡上市いとしろ)

【宅老所の開設を!】

見守り等が必要な高齢者の日中の居場所として、精神的なサポートを行う認知症予防講座を実施して、予防に努める。

宅老所は見守りが必要なお年寄りが安心して過ごせる。同居している家族にとって、日中、安心して働ける。町民が安心・安全に暮らすために視察してきました。学んだことは活用します。

教育民生常任委員会

《消防新体制関係》

問 デジタル化によって現場に到着する時間が早くなるのか。

答 デジタル化は消防救急無線のことで、到着時間短縮は高機能指令装置を導入して可能になります。現在は、通報を受けた場所を地図で探して出動するため約3分近くかかっています。新システムは通報から約15秒で現場が特定でき、出動までの時間は約1分前後となり特段の改善が図られます。

問 消防署統合で、拠点を1カ所にする理由は。

答 消防署の稼働人員は三交替で実質24時間体制です。1カ所に集中することで、救急車は救急救命士が2人搭乗して応急の医療行為ができます。消防車も1台に搭乗する消防士が従来より多くなり、さらに、一度に数台の出動も可能で、初期消火に威力を発揮します。また、消防無線デジタル化も、アンテナ設置など、永平寺支所が一番効率的となっています。

問 消防署が遠くなると、豪雪時には大変不安である。その心配を解消するためにも、消防団を強化すべきと考える。その点を明確にしてほしい。

答 消防団及び地域の消防力を高める必要があります。町では、①消防団の組織の見直しを再度行う ②消防団の環境整備のため、年に数カ所の団車庫の改修 ③自主防災組織の強化のため、資機材購入時の補助金や地区連絡協議会の設立などを行っています。

問 消防署統合は、いつ頃から話が出てきたのか。

答 平成6年3月、当時の吉田地区消防組合議会で「消防庁舎統廃合特別委員会」が設置され、その頃から議論されてきました。

《開発センター関係》

問 新しい消防庁舎、開発センターの耐震補強が必要ならば全部新しく建てたらいいのでは。

答 築40年の開発センター、耐震補強しても耐用年数は伸びないので、議会ではいっそ新築の意見も多く、すべて新築でも合併特例債の利用はできます。これからさらに議論していきます。(注：消防署統合推進委員会での議論は、P2,3に示されています。)

議会と語り合

ダイジェスト版 (※ 質疑内容抜粋)

平成24年11月7日8日9日10日 実施

町民からの質問・要望等への回答

町内12会場で開催し、4日間で延べ200の方が会場に足を運んでくださいました。

予定の時刻を過ぎて閉会した会場もあるほど、活発な話し合いがなされ、町民の皆様から多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。すべてのご意見を議員が共有し、所属の委員会にて審議し、政策立案や提言に反映させます。

永平寺町議会議長 伊藤 博夫

《消防広域化》

問 市町村消防の広域化を進めると聞いているが、県下の動きはどうなっているのか。

答 広域化については、今年度中に実施という国の指導があるが、全国的に進んでいない状況です。現在の状況は、国の中間答申により平成25年3月までから5年延長と聞いており、今後検討されていきます。



諏訪間ふれあい会館

《温泉関係》

問 あわら市にある施設は流水プールもあるので、中学校等の生徒とか幅広く集客できるシステムとなっている。永平寺温泉は高齢者のみの集客に見えるが、それでは駄目だと思いますので、今後、ターゲットはどのようにしていくのか。

答 永平寺温泉「禅の里」は、総額3億2千万円で建設するもので他の施設は今後の課題です。

問 巡回バスは地区、地区バラバラに巡回しているが、3地区を巡回して温泉へ行けるようにし、集客ができるようにしていただきたい。

答 温泉運営業者や町の方で、現在模索しております、議会といたしても3地区を巡回するにすれば、集客も多くなり目的達成が出来るのではと進言しております。

問 身障者を同伴者が連れてきた場合、料金は安くなるのか。

答 同伴者一人までは250円です。

—ご意見—

・永平寺温泉は泉質がいいということをPRしてほしい。鮎釣りさんもたくさん来られる。国道のメイトから尾崎自動車までの電柱に看板を取付けると効果的だと思う。

《議員定数関係》

問 議員定数は現状維持でいいが、住民の意見を聞いて良心的に決めて頂きたい。

答 議会と語り合う会において多くの住民の意見を聞き、また、いろんな情報と他市町村の動向を参考にして、議会で議論し誠意をもって決定してまいります。

問 減らすことには反対。この地域は、過疎地域でさびれていくばかりである。町民の声を行政に反映するには、議員が必要である。定数が少なくなると、得票数が多くなりなかなか議員を出せなくなる。議員定数は1人あたりの人口比を参考にすべきである。

答 議員の中にもそのような意見がある。

問 議員定数を2人減らして報酬を増やしてはどうか。

答 町民の意見を聞き、データや実績を見ながら議員間で議論して決定したい。

—ご意見—

- ・大野市・勝山市に比べると永平寺町は多いと思う。
- ・政務調査費は、まじめに勉強して費用がかかっているのなら支出してもいいと思う。
- ・町民の声を聞ける人数は何人がいいかということを考えなければならない。
- ・報酬は安すぎて定年の者しか出馬できない。若い人は本業になるよう魅力ある報酬額にして頂きたい。
- ・削減すべき。少数精鋭で、議員には勉強してもらい、働き次第によっては報酬アップも是認する。



市荒川集落生活改善センター

地デジ 092ch 行政チャンネル週間番組表 放送期間 2013年1月25日(金)～1月28日(月)

時	1月25日(金)	1月26日(土)	1月27日(日)	1月28日(月)	時
7	00 本会議 1日目	00 予算決算常任委員会③ 52 文字告知放送	00 本会議 8日目 一般質問③ 滝波登喜男議員	00 本会議 7日目 一般質問③ 河合永充議員 川崎直文議員	7
8	17 文字告知放送	00 本会議 14日目①	16 文字告知放送	06 文字告知放送	8
9	00 本会議 7日目 一般質問① 上坂久則議員 酒井要議員 小畑傳議員 齋藤則男議員	26 文字告知放送	00 予算決算常任委員会①	00 本会議 8日目 一般質問① 金元直栄議員 松川正樹議員	9
10	45 文字告知放送	00 本会議 14日目②	12 文字告知放送	44 文字告知放送	10
11	00 本会議 7日目 一般質問② 長谷川治人議員 川治孝行議員 長岡千恵子議員 原田武紀議員	08 文字告知放送	00 予算決算常任委員会②	00 本会議 8日目 一般質問② 松川正樹議員 上田誠議員	11
12	57 文字告知放送		21 文字告知放送	09 文字告知放送	12
13	00 本会議 7日目 一般質問③ 河合永充議員 川崎直文議員	00 本会議 1日目	00 予算決算常任委員会③ 52 文字告知放送	00 本会議 8日目 一般質問③ 滝波登喜男議員	13
14	06 文字告知放送	17 文字告知放送	00 本会議 14日目①	16 文字告知放送	14
15	00 本会議 8日目 一般質問① 金元直栄議員 松川正樹議員	00 本会議 7日目 一般質問① 上坂久則議員 酒井要議員 小畑傳議員 齋藤則男議員	26 文字告知放送	00 予算決算常任委員会①	15
16	44 文字告知放送	45 文字告知放送	00 本会議 14日目②	12 文字告知放送	16
17	00 本会議 8日目 一般質問② 松川正樹議員 上田誠議員	00 本会議 7日目 一般質問② 長谷川治人議員 川治孝行議員 長岡千恵子議員 原田武紀議員	08 文字告知放送	00 予算決算常任委員会②	17
18	09 文字告知放送	57 文字告知放送		21 文字告知放送	18
19	00 本会議 8日目 一般質問③ 滝波登喜男議員	00 本会議 7日目 一般質問③ 河合永充議員 川崎直文議員	00 本会議 1日目	00 予算決算常任委員会③ 52 文字告知放送	19
20	16 文字告知放送	06 文字告知放送	17 文字告知放送	00 本会議 14日目①	20
21	00 予算決算常任委員会①	00 本会議 8日目 一般質問① 金元直栄議員 松川正樹議員	00 本会議 7日目 一般質問① 上坂久則議員 酒井要議員 小畑傳議員 齋藤則男議員	26 文字告知放送	21
22	12 文字告知放送	44 文字告知放送	45 文字告知放送	00 本会議 14日目②	22
23	00 予算決算常任委員会②	00 本会議 8日目 一般質問② 松川正樹議員 上田誠議員	00 本会議 7日目 一般質問② 長谷川治人議員 川治孝行議員 長岡千恵子議員 原田武紀議員	08 文字告知放送	23
24	21 文字告知放送	09 文字告知放送	57 文字告知放送		24

《その他》

問 火災報知機の点検をしてほしいが、個人で行うものか。

答 基本的には個人で行うものです。乾電池がほとんどで、機種により異なりますが点検機能がついています。また、電池交換も機種や種類により異なります。

問 永平寺町は福祉協議会へ「福祉事業」を丸投げして福祉業界では問題となっている。特に個人事業者においては独占企業のようになっている福祉協議会にいろんな点で圧迫されており、個人事業者は情報もなく儲けられない。

答 在宅福祉の委託事業につきましては、地域福祉推進の団体である社会福祉協議会において事業を推進しており、利用者へのより迅速で的確な対応が見込まれると考えております。それらの事業については、町が指導・管理をするとともに、利用者からのご意見・ご要望や改善点等について町に報告されるようになっており、その都度、事業改善、施策に反映しています。

次に、介護保険事業についての現状は、介護サービスを提供する事業所は、町内においては10施設あり、そのうち、社会福祉協議会が運営している施設は、4施設であり、介護

サービスを利用される方のケアプランについても、本人の希望に応じた施設利用を決定しております。

今後、介護保険事業の運営状況をみながら、介護サービスの充実を図りたいと考えております。

問 産業フェアの出店等や全体の企画や目的は、どのようになっているのか。また産業フェアを議会としてどう見ているのか。人口の多い松岡地区で行うべきでは。また、予算はどれくらいかかっているのか。

答 目的に沿ったフェアにするべきである…という声が議員から出ています。また、産業建設常任委員会で商工会と話し合う機会を設け、それについても意見交換している。費用は500万円程です。4年目となる来年度には見直しをする計画となっています。

問 県外では高速道路と高速道路の間は高規格道で結ばれている。中部縦貫道はどうか。

答 中部縦貫道は、当面、高規格道です。平成28年度に福井北ICと大野間は結ばれ、当面、無料となります。しかし、中部縦貫道の目的からすると、大野から白鳥間が急がれますが、まだ、建設工事までは入っていません。

議会・各委員会の議員出欠状況

○：出席 ×：欠席 △：遅刻 早退 ー：員外 傍：傍聴 申：申事 研：研修

日付	開催委員会等	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川崎	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	河合	上田	酒井	伊藤		
9月21日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍	
9月24日25日	産業建設常任委員会建設視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
9月27日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
9月28日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月2日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月4日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月5日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月9日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月11日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月12日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月15日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月16日	予算決算常任委員会現地視察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月16日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月18日	予算決算常任委員会総括	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月22日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月22日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
10月31日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月2日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月6日	温泉利活用特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月6日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月7日	議会と語る会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月8日	議会と語る会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月9日	議会と語る会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月10日	議会と語る会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月15日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月16日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月19日20日	視察研修(小松島市・加西市)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月21日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月22日	温泉利活用特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月22日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月28日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月28日	温泉利活用特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月29日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
11月30日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月3日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月4日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月4日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月4日	議会行財政改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月10日	定例会(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月11日	定例会(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月12日	消防署総合推進特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月13日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月14日	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月14日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月17日	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月17日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
12月17日	定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	出席回数	41	35	33	31.5	44	36	40	42	37	23.5	35.5	41.5	41.5	42	34	31	23		
	会議回数	43	38	34	37	44	37	41	43	38	37	37	44	43	43	34	34	23		
	出席率	95%	92%	97%	85%	100%	97%	98%	98%	97%	64%	96%	94%	97%	98%	100%	91%	100%		

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様には議会活動をより一層知っていただくため、議会・各委員会の議員出欠状況を随時お知らせいたします。



東古市ふれあい会館



山王農業構造改善センター

※紙面の都合上、掲載できなかった
質疑内容・回答はホームページほか、
本庁役場・永平寺支所・
上志比支所で1月下旬より
ご覧いただけます。
ご了承ください。



永平寺町議会 検索

永平寺町議会

お問合せ：議会事務局 Tel61-3950